

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復実技4	講義・実技	2	60	基礎柔道整復学1.2.3 臨床柔道整復学1.2.3.4 柔道整復実技1.2.3
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科3年	小澤 健史・錦織 輝礼	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	外部 接骨院・附属接骨院外来担当での実務から、臨床の場面での疾患鑑別に必要な知識を学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>・競技者(アスリート)に対しての専門的知識・技術を身に着ける。また、年代では青壮年だけではなく、高齢者に対しての専門的知識・技術(機能訓練指導を含む)を身に着ける。</p> <p>・認定実技審査における、軟部組織損傷の評価法・固定法について試験合格レベルに到達する。また、上記の外傷評価・処置の知識を基に、生活レベルや年代分けした保存療法の実施方法を学ぶ。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>競技者・高齢者に対する外傷予防の技術・知識を身に着けます。その為、各年代に応じた身体状態の変化を知っておくことにより理解が深まります。生理学の教科書の競技者・高齢者の生理学的変化の項をよく復習しておきましょう。</p> <p>柔道整復師として経験した、骨折・脱臼・軟部組織損傷に対する整復法、検査法、固定法を習得する。 接骨院などの臨床現場で実践するものを指導するが、基礎は柔整理論、実技教科書の記載内容に準じて展開する。</p>					
教科書・参考書					
公益社団法人全国柔道整復学校協会監修 「柔道整復術と機能訓練指導」「競技者の外傷予防」 「柔道整復学・理論編(改訂第6版)」「柔道整復学・実技編(改訂第2版)」「包帯固定学(改訂第2版)」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業毎、白衣に着替えて教室待機(教室にて伝達事項&出席確認)(忘れた場合は、速やかに担当講師に報告する。) ● メモの用意や授業後に行った内容をまとめておく ● 固定道具等の準備を確実に行う。 ● 頭髪(色、長さ、髪型)、服装(白衣上下、靴下着用)は厳しく指導します。 ● 髭、装飾品等は許可しない。 ● グループにて実技を行い、接遇(思いやる気持ちを持って)を意識します。 <p>◆ 実技室、教室の清掃徹底</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	定期試験			
その他	20	中間試験・小テスト・実技など			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	4/12	競技者の外傷予防① 競技者の外傷予防の概説・発生 要因・予防対策を説明できる。 教科書27-37		/	小澤 健史
2	4/19	競技者の外傷予防② メディカルチェックを実践でき る。		/	小澤 健史
3	4/26	競技者の外傷予防③ コンディショニングの方法を実 践できる。		/	小澤 健史
4	5/10	競技者の外傷予防④ コンディショニングの方法を実 践できる。		/	小澤 健史
5	5/17	競技者の外傷予防⑤ 柔道における外傷の予防策を実 践できる。 教科書97-101		/	小澤 健史
6	5/24	競技者の外傷予防⑥ 水泳における外傷の予防策を実 践できる。 教科書102-108		/	小澤 健史
7	5/31	競技者の外傷予防⑦ バスケットボールにおける外傷 の予防策を実践できる。 教科書108-114		/	小澤 健史
8	6/7	競技者の外傷予防⑧ サッカーにおける外傷の予防策を 実践できる。 教科書115-120		/	小澤 健史
9	6/14	高齢者の外傷予防 競技者の外傷予防 総復習を行う。		/	小澤 健史
10	6/21	高齢者の外傷予防 競技者の外傷予防 総復習を行う。		/	小澤 健史

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	6/28	高齢者の外傷予防① 高齢者の転倒予防の意義を説明することができる。 転倒のリスク要因を列挙することができる。 教科書99-102		/	小澤 健史
12	7/5	高齢者の外傷予防② 高齢者の歩行能力を評価することができる。 正しい歩行補助具の使用法を説明することができる。 教科書99-102、165-169		/	小澤 健史
13	7/12	高齢者の外傷予防③ 高齢者の機能訓練の実施までの流れを実践できる。 事前アセスメントを実施できる。 教科書171-180		/	小澤 健史
14	7/19	高齢者の外傷予防④ 高齢者の機能訓練の実施までの流れを実践できる。 個別実施計画を作成できる。実施から事後アセスメントまでの流れを習得する。 教科書171-180		/	小澤 健史
15	7/26	高齢者の外傷予防⑤ 高齢者の外傷予防訓練が実践できる。 上肢の外傷予防訓練 教科書180-227P		/	小澤 健史
16	8/2	高齢者の外傷予防⑥ 高齢者の外傷予防訓練が実践できる。 下肢の外傷予防訓練 教科書180-227P		/	小澤 健史
17	8/9	高齢者の外傷予防⑦ 高齢者の外傷予防訓練が実践できる。 体幹の外傷予防訓練 柔軟性向上訓練 教科書180-227P		/	小澤 健史
18	9/6	高齢者の外傷予防⑧ 高齢者の外傷予防訓練が実践できる。 バランス訓練 持久力向上訓練 教科書180-227P		/	小澤 健史
19	9/13	授業内試験		/	小澤 健史
20	9/20	高齢者の外傷予防 競技者の外傷予防 総復習を行う。		/	小澤 健史

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21	特別授 業日	腱板損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・ペインフルアークサイン ・ドロップアームサイン ・インピンジメントサイン		/	錦織
22	特別授 業日	上腕二頭筋腱損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・ヤーガソンテスト ・スピードテスト ・エルボーフレクションテスト		/	錦織
23	特別授 業日	ハムストリングス損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・ハムストリングス伸長時痛の確認 ・ハムストリングス収縮時痛の確認		/	錦織
24	特別授 業日	大腿四頭筋打撲の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・大腿四頭筋伸長時痛の確認 ・大腿四頭筋収縮時痛の確認		/	錦織
25	特別授 業日	膝関節側副靭帯損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・側方動揺テスト ・牽引アプレーテスト		/	錦織
26	特別授 業日	膝関節十字靭帯損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・ラックマンテスト ・前方引き出しテスト ・後方引き出しテスト		/	錦織
27	特別授 業日	膝関節半月板損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・マックマレーテスト ・圧迫アプレーテスト		/	錦織
28	特別授 業日	下腿三頭筋損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・下腿三頭筋伸長時痛の確認 ・下腿三頭筋収縮時痛の確認		/	錦織
29	特別授 業日	足関節外側靭帯損傷の評価 検査法を口述し実施出来るよう にする。 ・内転ストレステスト ・前方引き出しテスト		/	錦織
30	特別授 業日	まとめ 復習		/	錦織